広報
さめがわ

昭和60年
12月号
No. 384
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



先人のこころを今に伝える

村指定無形民俗文化財 渡瀬獅子舞が8年ぶりに公開

今年で第38回を数えた鮫川村文化祭は、11月23日から25日までの3日間盛りだくさんの集中行事でにぎわいました。

24日には、村指定無形民俗文化財の「渡瀬獅子舞（ささら）」が一般公開されました。渡瀬獅子舞は、大字渡瀬字江竜田部落に伝わる伝統芸能で、吉野朝時代(1335～1397年)から国家安泰と五穀豊穣を祈願し鎮守の熊野神社に奉納するようになったと伝えられています。

今年は八年ぶりの一般村民公開とあって、大勢の参観者がつめかけ、先人の「こころ」を今に伝える奉納の舞に堪能していました。

12月1日～25日　村税完納運動推進月間
12月1日～31日　歳末たすけあい運動
12月15日～1月14日　年末年始の交通事故防止県民運動

今月の人口
（12月1日現在）

		前月比
人口	5,547	(－4)
男	2,737	(－4)
女	2,810	(±0)
世帯	1,133	(－1)

土地改良区理事長に
吉田義一氏再選


吉田義一氏

鮫川村土地改良区の役員改選は、一〇月三〇日開催された総代会において次の方々に決まりました。

一一月一日から四年間、村の土地改良事業、基盤整備の推進など、農業経営安定をはかるための活躍が期待されます。

◇理事長　吉田義一
◇副理事長（会計担当）緑川操
◇理事（換地担当）関根　仁
〃（評価担当）生田目旭
〃（工事担当）藤田一朗
◇監事（総括）船木彦助
〃監事　森田　武

心あたたまる寄附

○赤坂西野字茅　白坂　政信様
亡父（勝弥）の遺志により
二〇万円
○富田字中沢　石井　栄様
亡祖母（ソノ）の遺志により
三万円
○鮫川村農業協同組合婦人部
（部長　石井　フミ様）
第三回農協まつりチャリティー協賛金　一万六、〇二六円
○赤坂西野字滝　須藤　勇様
亡父（勝男）の遺志により
一〇万円
○鮫川村婦人会
（会長　高木　モト様）
第三八回鮫川村文化祭バザー収益金の一部　二万円
○鮫川村商工会青年部
（部長　湯坐　良政様）
九、九七五円
○鮫川村商工会婦人部
（部長　藤田富久代様）
五、〇〇〇円
○富田字彦次郎　坂本　スミ様
一、七八一円
○鮫川村ふる里文化芸能クラブ様
七万円
○浅川ライオンズクラブ
（会長　渡辺　喜一様）
二万円
（鮫川村社会福祉協議会）

図書寄贈

このたび次の方々から歴史民俗資料館一般貸し出し用として図書の寄贈がありました。厚くお礼申し上げます。

○古典大系日本の指導理念二〇巻（一二〇、〇〇〇円相当）
富田小学校長鈴木　衛様
○日本の伝統工芸全一二巻外（四六、〇〇〇円相当）＝チャリティー益金から
鮫川社交ダンスクラブ
（代表　矢吹　勝則様）

おはなのちから (32)
青少年広場造成工事進む

村長　石田卯子八

健康でたくましく、活力に充ちた人間の育成に努めることは、行政の基幹的な施策のひとつであるが、その一環としてのスポーツ施設を整備する事業が各地でそれぞれ行われております。

わが村でも先に農業者トレーニングセンターや、上屋のあるプールなど独自の施設を完成して盛んに利用されております。

また各行政区の運動広場が、新農構や林総事業などによる国県補助を得て完成しました。

渡瀬運動広場
赤坂西野運動広場
西山林研広場

など、地区住民はもとより、村や郡のスポーツ行事にも活用され、健康増進、体力増強、コミュニティーの濃密化などに機能していることはよろこびにたえません。

村民運動場は村の中央部に所在する面積一五、一七二㎡の運動広場として昭和四七年に造成され、全村的なスポーツの拠点として親しまれてきました。

それが県立東白川農商高校鮫川分校舎の新築に当り、その一部を学校用地に割愛し、運動場は学校と共用することにしたので、新しく「青少年広場」の造成を進めたわけであります。

この計画は村民運動場の北西、主要地方道棚倉鮫川線を距てた宿の入地内を用地とし、総面積四五、九三四㎡余の農地山林を譲受け、山を削り谷を埋めて広大な運動広場を造成するものであります。

一〇万㎥以上の土量を切り盛りする大工事になるので、自衛隊第六師団に作業隊の派遣を要請し、幸に受託されて昨年から工事が実施されました。

今年は第二期工事として五万㎥を超える土量を消化して頂きましたが、周到な計画、効率的な作業、慎重な安全管理など、地域で学ぶべきことも多く、この工事は予定より半月も早く一一月一五日に終了一八日師団長から村長に引渡しされました。

これから法面、側溝、進入道路、駐車場等の造成工事、附属工作物の建設等を進め、年度内に完成させたい計画であります。

この膨大な規模の事業が、国県補助に該当しないことが難点でありましたが、自衛隊受諾以外の事業を、自治省の「まちづくり特別対策事業」に採択して貰うことによって地域総合整備債の導入が決り負担軽減の途が開けました。

行政相談　12月19日㈭　午前10時から午後3時　山村開発センター

青少年広場第2期工事終る

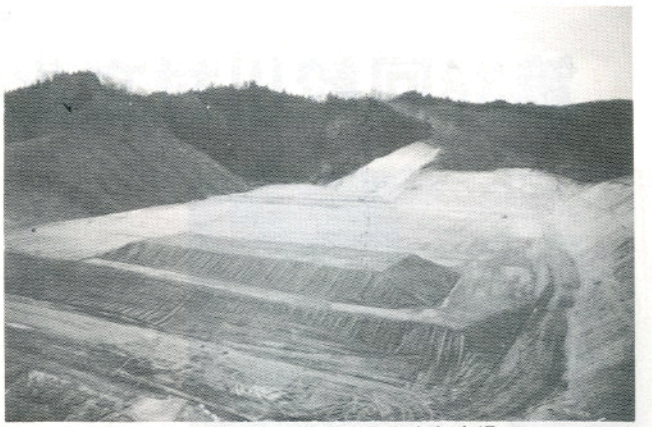
年度内には夜間照明も設置

村が自衛隊に委託して工事を進めてきた青少年広場造成第二期工事がこのほど終了し、村に引き渡しされました。

この工事は、五九年度が第一期工事、今年度が第二期工事の二年継続事業で進められてきました。今年度の工事は、一〇月一六日に着工され、ブルドーザー六台が昼夜間フル回転し、一一月一五日完成しました。

引渡し式は一一月一八日午前一〇時から役場会議室で行われ、自衛隊第六師団長と村長が工事完成通知書と工事受領書の交換を行いました。

青少年広場造成工事はこのあと、道路、駐車場、建物施設等の工事に移り、年度内には夜間照明も設置される予定です。



▲第2期工事が完成した青少年広場



▲引渡し式で、工事完成通知書と受領書が交換された

水田利用再編対策事業

今年の達成率は111パーセント

昭和六〇年度の水田利用再編対策事業による水田転作等現地確認が、去る九月二七日に終了しました。

今年の実績は、転作目標面積九三ヘクタールに対し、一〇三ヘクタール余が実施され、一一一%の達成率となりました。

なお、今年の他用途利用米の作付面積は、四・六ヘクタール余で、転作等実施面積の四・五%にあたります。大字別の達成率は次のとおりです。

大字名	目標面積	実施面積①	他用途利用米面積②	実績算入面積③	合計①+②+③	転作達成率
西野	147,631㎡	137,100㎡	15,389㎡	852㎡	153,341㎡	103.86%
西山	151,118	157,955	17,081	—	175,036	115.88
中野	113,821	124,682	1,532	—	126,214	110.88
東石	178,308	210,051	9,103	—	219,154	122.90
富田	86,000	94,117	644	—	94,761	110.18
渡瀬	145,322	149,548	2,819	—	152,367	104.84
青生野	107,800	113,045	—	—	113,045	104.86
合計	930,000	986,498	46,568	852	1,033,918	111.17

土地改良区総代選挙

無投票で30名が当選

任期満了による鮫川村土地改良区の総代選挙は、無投票で三〇名の当選者が決まりました。

当選証書附与式は、一一月一二日午前一一時から農業技術指導センター研修室で行われ、蛭田正選挙管理委員会委員長から一人一人に当選証書が交付されました。

当選された方々は次のとおりです。（届出順）

▽高木好勝（簿ケ久保）▽鷲野谷敏男（彦次郎）▽円井彦兵衛（鬼越）▽白坂幹雄（青生野）▽藤田剛（青生野）▽舟木金一（石の花）▽須藤芳枝（滝）▽北條辰之（押目）▽長久保利生（中沢）▽我妻隆（落合）▽阿久津國市（滑石）▽鈴木市治（道少田）▽白井邦光（中沢）▽國島義麿（鍬木田）▽関根乙夫（戸倉）▽石塚寛（青生野）▽石原正人（二本田）▽石井利雄（酒垂）▽國井善郎（越虫）▽蛭田一（田ノ上）▽芳賀國夫（江竜田）▽津田光雄（木之根）▽関根彦治（戸草）▽松本定雄（沼野沢）▽芳賀一（鍬治平）▽阿久津義郎（折戸）▽鏑木正昭（内ケ竜）▽中川西建治（中内）▽矢吹勝義（芦ノ草）▽前田武久（官代）



▶蛭田正選挙管理委員長から当選証書が交付された

文化の祭典

第38回鮫川村文化祭

第三八回鮫川村文化祭は一一月二三日から二五日までの三日間開かれ、大勢の人出でにぎわいました。
会場は山村開発センター農業者トレーニングセンター、歴史民俗資料館、商工会館の四か所で、各種団体による展示や催し物が行われました。



会場を埋めたお母さん、お嫁さん

お母さん、お嫁さんに感謝する会





村民踊愛好会の踊りやコント、マジック、山中美智子歌謡ショーなどを楽しんでいただきました。



村の名物行事になっている「お母さんお嫁さんに感謝する会」は、24日午前10時から山村開発センターで開かれ、日頃の苦労を忘れて楽しい1日を過ごしていただきました。



11名の健康優良児が表彰されました

芸術・

特集





商工会主催の文化講演会が、23日午後1時から商工会館で開かれました。

講師は「青年の主張」などでおなじみの元NHKチーフアナウンサーの川上裕之氏をお迎えし、「話し上手、聞き上手は人間関係上手」のテーマで講演されました。







【写真上】青年会のお茶会が今年も開かれ、日本茶の優雅な味わいを楽しむことができました。【写真下】青年文化発表会は、演劇、合唱、寄席、漫才などユニークな企画で行われ、渡瀬分会の演劇「鶴の恩返し」が最優秀賞に選ばれました。



村内小中学校の学習発表会は25日開かれ、すばらしい演技を披露してくれました。

特集＊第38回鮫川村文化祭

芸術・文化の粋を集めた展示会場

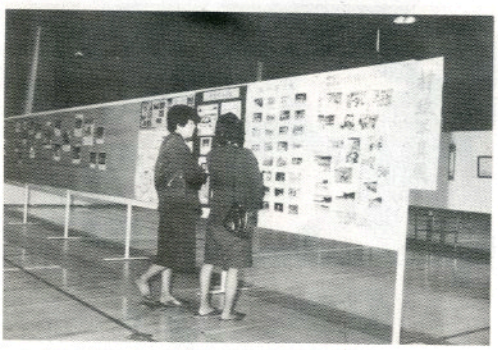


婦人会による生活の工夫展



展示物のメーン会場になった
農業者トレーニングセンター

文化祭の展示物は、今年も農業者トレーニングセンター一か所に集めて開かれました。
昨年より参加団体も増え、みごとな作品が会場一ぱいに展示されました。



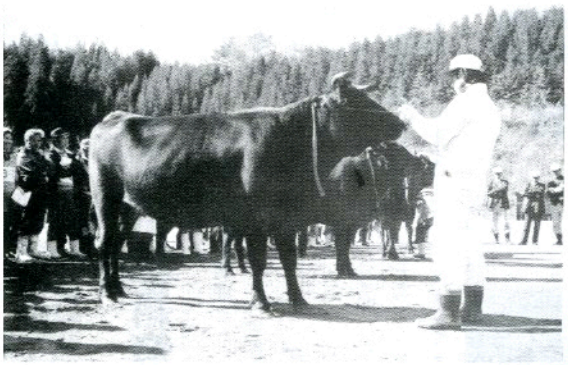
1年間を写真で振り返る村政写真展



農業・生活改良推進員コーナー



今年も力作が集まった老人作品展



畜産の祭典、畜産共進会が11月13日村民グランドで開かれ、各大字の予選会を通過した肉用牛38頭、乳用牛27頭が出陳されました。審査の結果、肉用牛の部では鈴木清司さん（青生野）、乳用牛の部では関根善徳さん（土路部）の所有牛がグランドチャンピオンに選ばれました。



文化祭行事のトップを切って11月４日から７日まで、菊花愛好会による菊花展が開かれました。会場の山村開発センターには、春から丹精こめて育ててきた菊 180鉢が展示され、見事な出来栄えと菊の香に参観者は感嘆していました。



東白川郡短歌会が11月５日午前10時から山村開発センターで開かれました。講師に須賀川市の大原良夫氏を迎え、会員から出された短歌47首の講評があり、優秀作品三点が表彰されました。



子供の成長を感じさせる幼児作品展



見事な出来栄えの小・中・高児童生徒作品展



心を落ち着かせる華道展



アマチュア無線の運用も公開された

地籍調査の第1号

塚本地区　地籍簿案など完了

鮫川村の国土調査（地籍調査）は、昭和五九年度に塚本地区（字西・中・浅屋敷・旗門場・前作・藪・高岩・大字西山字折戸の一部）から始められ、このたび面積計算業務などが完了しました。

従来の字限図と土地台帳に代る「地籍図案」と「地籍簿案」ができあがったもので、一二月六日から二〇日間、土地所有者や一般の人が閲覧できます。このあと県知事に対し認証の請求が出され、六一年三月頃には認証になり、同地域の新しい地図と土地台帳が誕生します。

◎面積　約一三二ヘクタール
◎筆数　約一、〇五五筆

地籍調査は継続して行われ、今年度は滑石地区を実施しています。六一年度は岨長地区、次年度は酒垂地区などが実施され、西野区全域が終了しだい西山区、赤坂中野区と順次実施して行く予定です。

福島県トラクター耕競技会

本村選手が上位入賞

第七回福島県トラクター耕競技大会が、一一月二七日国見町で開かれました。



▲国見町で開かれたトラクター耕競技大会

大会は、農耕用乗用型トラクターによる安全操作、作業技術の向上を図ることを目的に、福島県、福島県農業機械士会が共催したものです。

競技内容は、作業前の仕業点検、作業機の調整、作業の精度及び安全操作技術の三項目で、各地区の予選会を勝ち抜いた二九名の選手が腕前を競いました。

本村からは、ロータリー耕部門に芳賀登さん（渡瀬）、プラウ耕部門に鈴木清孝さん（青生野）が出場し、二名とも第五位と上位入賞を果たしました。

なお、第七回を数えるこの大会への出場は、東白川地方では初めてでした。

年末年始の交通事故防止県民運動

12月15日～1月14日

年末年始の交通事故防止県民運動が、一二月一五日から一月一四日までの一か月間実施されます。

この運動は、年末年始における交通の混雑や積雪・凍結等道路交通環境の悪化による交通事故の防止を図るとともに、この時期に多くなる飲酒運転の絶滅を期するため、次の四項目を重点に実施されます。

1、飲酒運転の徹底追放
2、歩行者、特に子供と高齢者の交通事故防止
3、夜間及び積雪、凍結時の交通事故防止
4、シートベルト・ヘルメットの正しい着用の徹底

◇　◇

年末年始は忘年会や新年会など、何かとお酒を飲む機会が増えます。「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を地域や職場、家族ぐるみで実践しましょう。



工業統計調査
石油等消費構造統計調査にご協力を

通商産業省では、工業統計調査および石油等消費構造統計調査を毎年12月31日現在で実施しています。調査の対象となる製造業を営む事業所には、年末年始にかけて調査員が伺います。調査の内容は、統計以外の目的に使われることは決してありませんので、安心してご協力くださるよう、よろしくお願いします。



火災予防週間に多彩な行事

全国火災予防週間に、火災予防に関する多彩な行事が行われました。





西山幼年・少年消防クラブでは「消火・避難訓練」「防火書道展」アイディアを出した「防火かかしコンクール」などを行い、火災予防に一役を買いました。



消防分署員が作成した防火看板

文芸



短歌

名下　須藤美代子

ひとり朝餉喰みつつテレビに視ておりぬいまだ観ざりし京の紅葉

新宿　杉山　忠男

亡き祖父の好みし南画の景観は比処ぞと声のみ桂林に佇つ

遠ケ竜　中川西好幸

夕つ波砕けし金砂はねあげて少年ひたに駆け抜けてゆく

棚橋　関根　一好

朝毎に紫苑咲きつぐ庭に佇つ地位なく貧しく妻逝きし身は

遠ケ竜　須藤　幸子

下校する子を待ちわびて手伝はす稲架けいそぐ空くもりきて

巡ケ作　鈴木　米子

ひさびさに子と山に来てりんどうを摘めば幼き日の蘇る

俳句

上　高坂　蚯切

鳶の輪をつんぬいている木守柿

道少田　山本五十鈴

冬山のどこかひそかに揺れている

石ノ花　斉藤　定光

花になる前の風情や芒の穂

大　塩　矢吹　呂孝

赤とんぼ障子を叩く日和かな

大　平　関根　絹子

鼻づらをなでて牛市みぞれ降る

青生野　吉成　タカ

吹く風やまばらに高く散る木の葉

横　座　矢吹　茂

冬に入る野菜ばかりが豊富にて

塩　倉　増子　義続

豊穣の秋のみのりの俵山

土路部　関根　儀光

老いし手に心つくせし菊美事

土路部　関根　英男

取入れの話もはずむ芋煮会

芦ノ草　吉田　芦州

明月や母十三日に逝きたもう

反　田　小山田清哲

固定クレーン長い腕のべ秋晴るる

新　宿　斉須　信子

秋日和ゲート通過の声ひびく

二反田　鷺野谷ヨネ

じゅうねん洗う紅葉まいちる井戸の水

江竜田　芳賀　高

秋晴れにふれあいの旅化石館

鮫川高校　沢　草二

藤枯れてジャックは空へ行きしまま

道少田　山本　朗史

口承の石らの眠り杉育つ

新　宿　湯座フチイ

老いの身に今日を楽しむ針仕事

西野沢　芳賀　登

鶏頭や耳の遠さを孫笑う

塩　倉　増子　ヨシ

一輪の菊の香りの鼻をつく

こんにちは
保健婦です

進行性指掌角皮症

進行性指掌角皮症とは、きき手の指先が発赤・亀裂、指紋消失や皮膚がむけたりする病気です。主婦の方に多い病気で、ひどくなると両方の手のひらにまで広がることもあります。

治りにくい病気のため苦しんでいる人がいると思いますが、次のことを参考に治療してください。

〈治療方法〉

- ●水仕事をなるべくさける。
- ●水仕事をする時は、手袋を使用する。
- ●病院から薬をもらう。

秋頃から悪化する人が多いようですが、手には常に油状のクリームを付けておくと良いようです。夜はクリームを付け、軍手をして寝ると乾きにくく、亀裂の予防になります。

〈原因〉……不明（洗剤等で起こると言われていますが、はっきりしません。）

食糧・農業の基本政策確立を決議



▲盛況に開催された県下農業委員大会

農委だより

白河で県下農業委員大会
村農委に農業新聞普及賞

二一世紀に展望を拓く農政を確立しよう―などをスローガンにした第三〇回県下農業委員大会が一一月二日、白河市の県営白河体育館で、県内の農業委員をはじめ、国会議員、県農業会議等関係者二千人が参加して開かれました。

はじめに、鈴木省吾県農業会議会長が主催者を代表して「農業内外の厳しい現状を打ち破り国民食糧の安全保障を基本とした食糧・貿易政策を確立するとともに、二一世紀をめざした農業改革を推進しなければならない。県下千八百六〇人の農業委員が、その運動の先頭に立って展開しよう」との挨拶があり、次いで知事代理の直江県出納長と地元の小野白河市長が挨拶し、表彰に移りました。鮫川村農業委員会は全国農業新聞普及優良賞を受賞しました。

議事では、「食糧・農業の基本政策確立」「県農林業施策確立」「農業委員会組織の拡充」の三議案について決議しました。また、建設省が打ち出した「農業用水からの流水占用料徴収反対」も決めました。

最後に「農業は国民食糧の安定供給や経済発展に大きな役割を果たしているにもかかわらず、政府は農産物市場開放を限りなく進め、先進国最低の食糧自給率にしており、また農林予算を削減している。このままでは国家の危機を招くため、政府に政策の転換を強く要求する」との大会宣言を満場一致で採択し、国へ働きかけることを決めて閉会しました。

制度の紹介
農業者年金制度の改正 ②

今回は、農業者老齢年金関係と被保険者の資格期間の改正について紹介します。

◎農業者老齢年金関係

○給付水準が改定されます。

老齢年金の給付水準は、制度発足当初から経営移譲年金単価の四分の一の水準で定められています。今回の改正においてもこの関係は同じですが、経営移譲年金額が段階的に引下げられますので、老齢年金額もそれに準じ二〇年かけて改定されることになります。

なお、現在、老齢年金を受給している人は、従前の年金額が保障されます。

○老齢年金の前日加入要件が廃止されます。

経営移譲年金の受給権者は老齢年金の受給資格を自動的にもっています。しかし経営移譲できなかった人は「六〇歳に達した日の前日に農業者年金加入者でなければならない」と現行法ではなっていましたが、改正後は六〇歳に達した前日まで農業を継続していればよいことになります。従って六〇歳に達した前日に厚生年金加入者でも農業に従事していれば老齢年金は支給されます。

◎被保険者資格期間が改善されます。

○六〇歳から六五歳までの人の任意加入制度が新設されます。

現行制度では、六〇歳に達するまでの期間が二〇年に満たない人は加入できないことになっていますが、今回の改正で、保険料に若干の未納があって受給期間が不足する人については、六〇歳から六五歳までの間に任意加入できる仕組みが新たに設けられます。これと関連して四〇歳をこえて四五歳までの間、任意加入できることになりますが、経営移譲年金は二〇年間（昭和一〇年一月一日以前生れの者については特例あり）納付後に支給されます。ただし、いずれの場合も高額の経営移譲年金は六五歳までです。

公民館だより

鮫川村書き初め展作品を募集

第一二回鮫川村書き初め展の毛筆作品を次により募集しますので、多数応募してください。

一、主　催　鮫川村公民館

二、対象者　村内に居住または勤務する者（高校生以上）

三、提出日時　昭和六一年一月二四日　午前八時三〇分～午後五時

四、提出先　鮫川村山村開発センター

五、書題等

㈠　課題の部

①　書題

楊柳画橋深浅水桃

花春岸往来船

（読み方）

楊柳画橋深浅の水桃

花春岸往来の船

（意味）

美しい橋には青々たる柳がたれて水は深浅、春の川べに咲く桃花に船がゆききしている。

②　字体　楷書

③用紙　画仙紙半折

④その他　出品作品は、展示できるように仮巻などを使用すること。

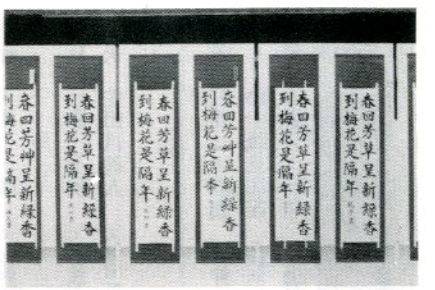
㈡　自由の部

書題、字体、用紙などは自由とし、出品作品は展示できるように仮巻などを使用すること。

六、記載事項　作品には氏名を記入し、仮巻などの裏には出品者がわかるように住所と氏名を記載してください。

七、表彰　出品点数に応じて金賞、銀賞、銅賞を贈ります。

◇　◇



▲昨年の力作ぞろいの書き初め展

募集作品の展示を次により行いますので、ご鑑賞ください。

一、展示日時　昭和六一年一月二七～三〇日　午前八時三〇分～午後五時

二、展示場所　鮫川村山村開発センター大集会室

三、その他　募集作品は、昭和六一年一月三一日、午前八時三〇分～午後五時に展示場所で返品しますので受け取りに来てください。

足半（あしなか）作りに挑戦

少年ふるさと教室

「わら細工」はすでに過去のものになろうとしているようにさえ見えます。しかし、わたしたちの食生活の中心としての稲作とともに育ってきたわら細工は、生活の道具として、信仰の印として、そのほかにもさまざまな使われ方をしてきました。より丈夫に、時には実に美しい形までも作り出し、日本の伝統として人々の生活の中に生き続けてきました。

鮫川村公民館の「ふるさと少年教室」では、このような「わら細工」の伝統を体験するために「足半」をつくってみることにしました。

一一月一七日（日）午前九時三〇分から「ぞうりを作って、はいてみよう」のテーマで、須藤栄恭さん（名下）、矢吹喜一さん（前折戸）、舟木藤一さん（寅卯平）、舟木三郎さん（石ノ花）、鈴木正利さん（浅屋敷）を講師にお願いし、山村開発センター集会室で実施しました。

参加した子ども達は、資料により自然素材としての稲わらの特性、人々の生活とわら細工とのかかわり合い等を学習した後、講師一人に四～五人づつのグループに分かれて製作活動に入りました。

五人の講師の方々の個性豊かな指導で「わらぶち」の話から始まり、縄の綯い方になるころから、文字通り手取り足取りといった様子が随所に見られました。



▲手を取って教わって……



▲足半をはいた顔は、満足感いっぱい

わらたばを箒のように使っての後かたずけの仕方まで、教えていただくなどした会場の整理は、これまでの活動の時にくらべて手際もよくきちんと行なわれ、最後まですばらしい活動でした。

た。「暖房はわらが乾くからだめだ」等の厳しい指摘も受け、慣れない姿勢による脚の痛みに耐え「うまい、うまい」と励まされ、昼食をはさんで午後二時すぎ、それぞれ「足半」を一足作りあげました。

大きいのあり、小さいのあり、なかには大きさも形もまったく異なり、どうみても一足とはいえないようなものもありました。それでも、こわごわはいて、そっと歩いて「足が痛い」などと言っている顔は、なぜか満足感いっぱいといった風情でした。

白河地方広域圏組合
消防吏員募集中

◇採用予定人員　二名以内
◇応募資格
・学力　高校卒業程度以上
・年令　昭和三六年四月二日から昭和四三年四月一日までに生れた男子
・身体の基準　一六五センチメートル以上
・受験申込受付期間
昭和六〇年一二月三日から一二月二一日まで
申込手続など詳しくは、棚倉消防署鮫川分署（電話四九－二一一九）にお尋ねください。

コロンビア火山噴火
救援金のご協力を

一一月一三日大爆発を起こしたコロンビアのネバドデルルイス火山噴火による災害は、死者二万人ともいわれる大規模災害となっています。
日本赤十字社では被災者を救援するため、救援金の受付をすることになり、鮫川村分区でも救援金受付の窓口を開設いたしました。みなさんのご協力をお願いします。
◇受付場所
鮫川村役場住民課窓口（日本赤十字社福島県支部東白川地区鮫川分区）
◇期間　当分の間
◇種別　金円に限ります。

無火災記録更新中

一一月二六日～一二月二日まで秋季火災予防運動が実施されましたが、鮫川村内においては火災発生もなく、これで一年九か月無火災記録が続いています。
これからも、無火災記録を更新していくため、各家庭、職場においては、火の取扱いに十分注意してください。
また、これから年末にかけては、空気が乾燥し、火災が発生しやすい気象条件になります。
この時期に、消防署では年末特別警戒として、鮫川全域の防火広報を実施します。各家庭においても、もう一度火の元の点検を行ない、火災のない明るい正月を迎えるようにしましょう。
「火事」と「救急」は一一九！
（棚倉消防署鮫川分署）

心配ごと相談
12月20日(金)
午前10時～午後2時
山村開発センター

診療所休診のお知らせ

次の期日は、休診させていただきます。
12月29日(日)、30日(月)、31日(火)
1月1日(水)、2日(木)、3日(金)

おめでた

一〇月
仁田　緑川　裕樹　父緑川一良
火打石　佐藤　明菜　父佐藤三郎

草牛　齊藤　美穂　父齊藤丈夫
青生野　大森　隆　父大森　守

一一月
戸草　三瓶　千秋　父三瓶高弘
少名沢　生田目義人　父生田目広美

おくやみ

一一月　年齢　世帯主
茅　白坂勝彌91歳　白坂政信
瀧　須藤勝男79歳　須藤　勇
中澤　石井ソノ87歳　石井　榮
上(渡)鈴木勝見76歳　鈴木　實
関口耕地　生田目ハナ76歳　生田目常雄

29年目の村税完納にご協力をお願いします

休日の在宅当番医

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
12月22日(日)	菅原	石川	
29日(日)	薄葉		木村
1月1日(水)	大木	中島	
2日(木)	中央病院	車田本	
3日(金)	和田	根生病院	
5日(日)	阿部	厚	
12日(日)	藤田		慈泉堂

ゴミの収集日

収集コース	種別	12月	1月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	16.19 23.26	6.9.13.16.20 23.27.30
	不燃物	27	10.24
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	17.19 24.26	7.9.14.16.21 23.28.30
	不燃物	27	10.24
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	26	9.23
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	25	8.22
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	—	17
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	27	10.24

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

塙セリ市場だより
(60・11・20)

性別	頭数	取引価格 最高	最低	平均	平均体重	平均月令
	頭	千円	千円	千円	kg	月
雌	130	874	88	266	241	9.9
去勢	114	381	205	306	263	9.4
計	244			286	252	9.7

今月の納税　村県民税(4)　納期限12月25日(水)